



校長室だより

校長 山崎 聡子

全校朝会

2月27日(火)に、全校朝会を行いました。朝会では、私の大好きなお話の一つである、「ふたりは いつも」アーノルド・ローベル 作・三木 卓 訳の絵本の中にある「おちば」を紹介しました。かえるくんとがまくんのお話ですが、大まかな内容は次のとおりです。

10月。木の葉がみんな散ってしまい地面につもりました。

かえるくんは、がまくんの家の庭の落ち葉を集めてきれいにしてあげようと考え、がまくんの家に出かけます。同じようにがまくんは、かえるくんの家の庭の落ち葉を集めてきれいにしてあげようと考え、かえるくんの家に出かけます。家の中を見て、お互いに相手がいなかったことを確認し、落ち葉を集めるために行動します。落ち葉を集めてきれいになったところで、お互いが自分の家に帰ります。しかし、風が吹き、山になった落ち葉は散り散りになってしまいます。それぞれの家に帰ったかえるくんとがまくんは、落ち葉だらけの庭を見て、明日は自分の家の庭の落ち葉をきれいにしてあげようと考えます。

その晩、布団に入った二人は、とても幸せでした。

利他で生きる時、幸せになるということをお話だと思えます。

相武台東小学校の中にも、友達のことを考え、温かな言葉を使い、行動する姿がた

くさんあることを伝えました。また、この学校を卒業した先輩たちも、そっと友達を支える素晴らしい姿をたくさん見せてくれたことを伝えました。

「あなたのために力を出している仲間がいます。あなたの力が誰かの力につながっています。お互いに感謝を伝え合って、学年のまとめをしていきましょう。」と伝え、朝会を終えました。

子供の思い

【令和6年度 児童会長】

今年度の児童会では、児童会目標である「一日一日を大切にし、助け合い、協力し合える、楽しい学校にしよう」を達成できるようにみんなががんばることで、目標達成力や、協力する力が身につきました。そして、それを生かして来年度やりたいことが主に二つあります。一つ目は、あいさつを積極的にすることです。児童会があいさつすることで、学校全体にあいさつがあふれる明るい学校にしたいです。二つ目は、学校行事に全員が楽しく参加できるようにすることです。私のまわりには、学校行事をやりたくないという人もいます。たとえば、運動系の行事だと、運動が苦手な人はとても大変そうに参加しています。なので、苦手な行事でも楽しく取り組めるよう工夫したいです。今年度の児童会の助け合いプロジェクトやあいさつ運動などで身につけたことも生かしながら、来年度の児童会でもがんばります。一年間よろしくお願ひします。